

半布里

富加町立富加小学校 校長 小森 明彦
 Tel 0574 - 54 - 3303 児童数327名
 2018年3月9日発行 学校だより特別号

平成29年度 富加小学校教育活動の成果と課題

～児童・保護者アンケート、職員の自己評価結果より～

やわらかな陽射しが春の訪れを感じさせる頃となり、今年度も、23日の卒業式、26日の修了式を残すのみとなりました。保護者の皆様には、今年一年、富加小の教育活動にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

平成29年度富加小は、PTA組織が大きく改編されましたが、おかげさまで大きな支障もなく、機能的・効率的に活動が展開されました。

さて本校では、毎年、職員が自己評価を行ったり、児童や保護者の皆様にアンケートをとったりして、本年度の教育活動を振り返り、それらに基づいて来年度の教育活動計画の作成を行っています。また、学校評議員の皆様にも評価を頂き、指導の改善に努めています。

今年度の教育評価の結果と、それに基づく来年度に向けた取組について、以下の通りご報告いたします。

※「加重平均」による達成率の算定

※ 達成率を 評価点とその人数を乗じた数の和を 全員が最高評価点を出したときの数値の割合で求めた。

$[4 \times (4\text{点の人数}) + 3 \times (3\text{点の人数}) + 2 \times (2\text{点の人数}) + 1 \times (1\text{点の人数})] \div (4 \times \text{総人数}) \times 100$

4：実践し、成果が上がっている 3：実践し、成果が上がってきている

2：実践しているが、成果が不十分 1：実践が十分でなく成果がない

達成率

＜学習指導＞ わくわくする授業、 よく分かる授業の創造	職員	① 読む」「聞く」「書く」「話す」などの基礎的な力がついている。	68.1%
		② 自ら考え、自ら学び、意欲的に楽しく学習を進めている。	69.4%
		③ 少人数指導等による、個に応じた適切な指導が行われている。	76.4%
	児童	① 毎日の授業は、よく分かりましたか。	85.1%
		② 漢字や計算の学習に努力することができましたか。	86.9%
	保護者	① お子さんは、授業の内容をよく理解していますか。	79.2%

○「毎日の授業がよくわかる」、「漢字や計算の学習に努力できた」と回答している児童が、85%を超えている。(前年度から微増)職員、保護者の評価も昨年度と比較し、やや上がっている。(各項目とも2～3ポイント)

▲児童と職員の評価に差があるのは、教師の目標設定が高いということが考えられる。学校評議員の方からは、「職員の向上心の高さがうかがえる。反面、教師の働き方改革が問われている昨今、到達点を高くすればするほど、負担とならないか」「子どもは『先生、もっとほめてよ』と言っているのではないか」等、ご意見を頂きました。

◎昨年度から引き続き、岐阜大学教職大学院から准教授を招き、算数科の授業改善について研究・研修に取り組んできました。また今年度は、少人数指導担当教員が常勤となり、4・5・6年生で、習熟度別少人数指導を行ってきました。来年度も、「自分の考えをもち、仲間とともに学び合う主体的な学習活動」をめざして、他教科においても、授業改善を広げていきます。

<道徳・特活> 仲間とよりよく生きるための人間関係の醸成	職員	④	道徳の時間の指導の充実により、一人一人に思いやりの心が育っている。	61.1%
		⑤	「よいところみつけ」や異年齢集団活動等により、温かい人間関係がつくられている。	73.7%
	児童	③	時と場を考えたれいぎ正しい行動ができましたか。	82.3%
		④	友達や仲間の「よいところみつけ」をし、協力してなかよくすごすことができましたか。	86.4%
		⑤	楽しく学校生活をおくることができましたか。	88.8%
	保護者	②	お子さんは、学校生活を楽しく過ごせていますか。	88.2%

○「楽しく学校生活をおくることができている」の項目は、児童・保護者とも88%を超えている。(ほぼ前年並み)
 ▲職員④「道徳指導の充実と思いやりの心の醸成」(61.1% 前年比-6.5ポイント)、⑤「異年齢集団活動と温かい人間関係」(73.7% 前年比-1.3ポイント)の項目が、低い評価となっている。

◎今年度も、学級・全校で、「ピカビー」の取組や「あったか言葉」週間などで友達のよさを認め合う活動を大切にしてきました。また、道徳教育計画訪問を機会に、授業研究や研修を行い道徳教育の充実を図ってきました。来年度は「**特別の教科道徳**」として**新しい教科書を使用**することになり、**道徳の授業を核にして日々の生活と関連**を図りながら、実践を積み重ねていきます。

<健康・安全> 健康で安全な生活習慣の育成	職員	⑥	交通ルールを守り、安全に登下校できる。	61.8%
		⑦	安全教育や情報教育の充実により、自ら危険を回避できる。	59.2%
		⑧	仲間と共に、進んで運動や遊びができる。	75.0%
		⑨	給食指導・食育を通して、好き嫌いなく残さず食べられる。	84.2%
	児童	⑥	分団の友だちと一緒にルールを守り、安全に登下校できましたか。	85.4%
		⑦	自分で危険なことに気づき、気をつけて生活ができましたか。	91.7%
		⑧	体育や青空の時間には、進んで運動したり遊んだりできましたか。	87.7%
		⑨	栄養バランスを考え、マナーを守って残さず給食を食べましたか。	91.0%
	保護者	③	お子さんは、自ら危険を回避し、安全な生活をおくることができていますか。	83.3%
		⑤	お子さんは、家庭で進んでお手伝いができていますか。	68.9%

○健康安全について、児童の回答は例年に引き続き高い結果となっている。
 ▲職員⑥「安全な登下校」(61.8% 前年比-7.6ポイント)、⑦「安全教育、情報教育の充実と危険回避」(59.2% 前年比-8.9ポイント)の項目が低い評価となっている。

◎今年度は、登下校中のケガや事故、下校後の自転車事故が多くありました。幸い、大きなケガには至りませんでした。一つ間違えれば大きな事故につながりかねない事案もありました。今後は、「**どうしたら危険を回避できるのか**」を、**児童一人一人が認識・判断し、行動できるよう、通学班指導・学級指導をきめ細かく**行っていきます。

学校図書館の積極的な利用	職員	⑩	読書指導・図書館利用指導を通して、進んで本を読んだり、本で調べたりしようとする。	67.1%
	児童	⑩	進んで本を借りて、たくさん本を読むことができましたか。	75.2%

○▲児童⑩「進んで本を借りて、たくさん本を読む」(75.2% 前年比-2.9ポイント)の項目について、学年が上がるにつれ、回答率が下がっている。(低79.9%、中78.8%、高65.7%)

◎高学年は低中学年と比べ、図書館に行く時間を毎日確保することが難しいという現状がありますが、1学期から計画的に「お薦めの本」の紹介や、調べ学習、並行読書などで、積極的な図書館利用を進めていきます。また、来年度から、掃除のないロング昼休みを週2日設定し、**ゆとりのある週日課で学校生活をおくる**ことができるよう、配慮していきます。

<3つのじまん活動> ①気持ちのよいあいさつ ②ぴかぴか掃除 ③明るい歌声	職員	⑪	進んで気持ちのよいあいさつをしようとする。	71.1%
		⑫	静かにすみずみまできれいに掃除をしようとする。	75.0%
		⑬	明るく元気な歌声で歌おうとする。	86.8%
	児童	⑪	進んで気持ちのよいあいさつができましたか。	86.7%
		⑫	だまってすみずみまできれいに掃除をすることができましたか。	86.1%
		⑬	明るく元気な声で歌うことができましたか。	89.4%
	保護者	④	お子さんは、家庭や地域で進んで気持ちのよいあいさつができていますか。	78.0%

○「3つのじまん活動」(児童)については、⑪「あいさつ」⑫「掃除」⑬「歌声」のどの項目も85%を超えている。特に職員⑬「歌声」(86.8% 前年比+7.6ポイント)は、高い結果となった。

▲家庭や地域でのあいさつが、やや課題である。保護者④(78.0% 前年比-0.6ポイント)

◎「3つのじまんを本当のじまんに」を合い言葉にして、学習・生活・健康各指導部の重点目標と関連づけながら、子ども達自身の取組となるよう実践を重ねてきました。特に歌声は、全校歌声タイムを計画的に位置付け、12月、2月に全校合唱を発表しました。来年度も年間を通じて、**3つのじまん活動を意図的・計画的**に展開していきます。

<生徒指導> 共感的理解に徹し、自己指導能力を育てる生徒指導	職員	⑭	教育相談週間やQ-U等を通して、予防的教育相談の充実に努めている。	77.6%
		⑮	児童一人一人に寄り添う温かさや、愛情に裏付けられた厳しさをもって、生徒指導にあたっている。	75.0%
	児童	⑭	相談や悩みごとなどがあるときには、先生たちや家族・友だちに相談できましたか..?(ない場合は/)	83.5%
		⑮	間違ったことをした時には、先生たちはちゃんと注意してくれましたか。(ない場合は/)	90.9%
	保護者	⑥	学校の教師は、お子さんの話(悩みごと、相談など)をよく聞いていると思いますか。	81.9%
⑦		学校の教師は、善悪の行動に対して、はっきりとした指導ができていますか。	87.1%	

○「教師は善悪の行動に対して、はっきりと指導(注意)する」(児童⑮90.9%、保護者⑦87.1%)の項目で、高い結果となっている。

▲職員の自己評価は、予防的教育相談、生徒指導ともにほぼ前年度並みとなっている。

◎今年度は、QU検査の分析・活用について、外部講師を招き全職員で研修を行いました。検査結果をもとに事後の指導や教育相談に生かすことができました。来年度も**予防的教育相談に努め、児童一人一人に寄り添う生徒指導に努**めていきます。

<地域に開かれた学校> ①説明責任 ②理解・協力・連携 ③共通理解・保護者対応 ④安全・安心	職員	⑯	教育方針や教育活動の様子を、懇談会や学校・学年だより、HP等を通して分かりやすく伝えている。	76.3%
		⑰	地域や保護者の方の協力を得ながら、地域のよさを生かした教育活動をしている。	80.3%
		⑱	保護者や地域の方に、明るい挨拶や丁寧な話し方、対応を心がけている。	84.2%
		⑲	管理が適切になされ、安全で学びやすい環境になっている。	75.0%
	保護者	⑧	学校は、教育方針や教育活動の様子などを、懇談会や学校・学級だより、ホームページ、町広報などで、分かりやすく伝えていますか。	88.0%
		⑨	学校は、明るい挨拶や丁寧な話し方・対応(訪問・来校時・電話等)をしていますか。	92.0%
⑩		学校は、安全で学びやすい環境になっていますか。	88.8%	

○保護者⑧⑨⑩とも、高い回答率となっている。(ともに前年度から微増) 職員⑰「地域のよさを生かした教育活動」(80.3% 前年比+5.3ポイント)⑱「挨拶、丁寧な対応」(84.2% 前年比+5.0ポイント)で、大きく上昇している。

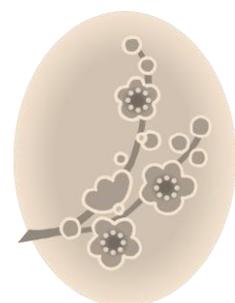
◎今年度は、砂場の増設、ICT機器(インタラクティブホワイトボード)の購入や、不審者侵入防止対策として防犯カメラの設置など、施設整備を進めてきました。来年度も「安心・安全で学びやすい学校」をめざすとともに、**PTA参観や懇談会、家庭教育学級などを核にして、家庭との連携を一層充実させていきたいと考えています。**

絆の日の取組	職員	⑳	「絆の日」の取組は、生命を大切にしたり、守ったりする意識の高揚につながっている。	64.5%
	児童	⑯	絆の日にかかわる学びを通して、自分の命を大切にすることや、仲間を大切にしようとする気持ちが高まりましたか。	91.5%
	保護者	⑪	学校は、命を大切にする教育(絆の日の取組など)を実践できていますか。	88.7%

○「命を大切にする」(児童⑯91.5%、保護者⑪88.7%)の項目で、高い結果となっている。

▲職員⑳64.5%(前年比-20.2ポイント)と、下降結果となった。絆の日については、全校一斉指導から各学級での指導に移行させたことが、要因の一つに考えられる。

◎年4回実施している命を守る訓練では、**決して形骸化することなく、予期せぬ災害に備え**様々なパターンでの訓練を行いました。来年度も火災を想定した煙道体験の実施等を予定しています。



保護者の皆様、地域の皆様のおかげをもちまして、今年度も子ども達の確かな成長の足跡を残すことができました。また来年度への課題も明らかになってきました。

来年度も、「夢と感動のある学校」～じまんできる自分・学級・学校づくり～をめざし、家庭・地域との連携を深めながら、開かれた学校づくりを一層進めていきたいと考えています。家庭教育学級の充実とあわせて、授業参観や懇談会に、一人でも多くの保護者の方々にご参加頂けるよう、魅力ある授業、教育活動をめざしていきます。